2011年3月期決算
中期経営計画2013 説明会

2011年5月16日
宝ホールディングス株式会社

本日の内容

1. 2011年3月期決算 レビュー
   - 宝ホールディングス連結
   - 宝酒造グループ
2. TaKaRaグループ中期経営計画2013
   - 第7次中期経営計画 レビュー
   - 中期経営計画2013 概要
3. 宝酒造グループ中期経営計画2013
4. 2012年3月期 業績予想
   - 宝酒造グループ
   - 宝ホールディングス連結

1. 2011年3月期決算 レビュー

宝ホールディングス連結

宝HLD連結_P/L概要（2011年3月期）

（単位：百万円）	11/03期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	11/4予想比 増減	11/4予想比 率(%)
宝酒造G	166,790	△ 179	△ 0.1	△ 2,509	△ 1.5
タカラバイオG	18,737	△ 588	△ 3.0	△ 162	△ 0.9
宝ヘルスケア	2,567	81	3.3	17	0.7
その他	1,673	△ 69	△ 4.0	23	1.4
売上高	189,769	△ 755	△ 0.4	△ 2,630	△ 1.4
売上原価	115,480	△ 325	△ 0.3	△ 1,319	△ 1.1
売上総利益	74,289	△ 430	△ 0.6	△ 1,310	△ 1.7
販管費	65,953	△ 193	△ 0.3	△ 846	△ 1.3
宝酒造G	6,568	△ 560	△ 7.9	△ 731	△ 10.0
タカラバイオG	1,097	544	98.4	297	37.2
宝ヘルスケア	△ 252	64	―	47	―
その他	921	△ 284	△ 23.6	△ 78	△ 7.8
営業利益	8,335	△ 237	△ 2.8	△ 464	△ 5.3
経常利益	8,427	△ 299	△ 3.4	△ 472	△ 5.3
当期純利益	3,788	△ 889	△ 19.0	△ 911	△ 19.4

●トピックス（11/4予想比）

＜総括＞
宝酒造グループの計画未達が響き、グループ全体でも計画未達。

＜宝酒造グループ＞
景気低迷・デフレ・東日本大震災などの影響により、計画未達。

＜タカラバイオグループ＞
売上高は計画未達となったが、営業利益は大幅に伸長し、過去最高を記録。

＜宝ヘルスケア＞
赤字ながら利益改善。

宝HLD連結_営業外・特別損益（2011年3月期）

●営業外損益

（単位：百万円）	10/03期 実績	11/03期 実績	増減
営業外収益	923	923	△ 0
受取利息	176	144	△ 31
受取配当金	309	328	18
持分法投資利益	―	76	76
為替差益	81	―	△ 81
その他	355	373	17
営業外費用	769	831	62
支払利息	254	227	△ 26
社債利息	323	339	16
棚卸資産廃棄損	16	29	12
持分法投資損失	50	―	△ 50
社債発行費	―	76	76
為替差損	―	22	22
その他	124	136	11
営業外損益収支	154	92	△ 62

●特別損益

（単位：百万円）	10/03期 実績	11/03期 実績	増減
特別利益	137	567	430
固定資産売却益	8	72	64
投資有価証券売却益	105	417	311
その他	23	77	54
特別損失	655	1,489	834
投資有価証券評価損	81	254	172
固定資産除売却損	300	238	△ 61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	―	424	424
震災による特別損失	―	396	396
係争和解費用	―	113	113
減損損失	127	―	△ 127
その他	146	61	△ 84
特別損益収支	△ 518	△ 922	△ 403

●東日本大震災の影響

＜生産拠点＞ 宝酒造㈱松戸工場の一部設備に軽微な損傷
☞直ちに修復し、震災翌週より稼働

＜物流拠点＞ 宝酒造㈱東日本物流センターの 自動倉庫に損傷（修復作業中）
☞一時的に一部製品の配送に遅れが発生
☞別の物流拠点より配送

●震災による特別損失 （単位：百万円）

宝酒造（単体）395 ― 設備復旧費用 188、棚卸資産評価減等 189、その他 17

その他の子会社 1

1. 2011年3月期決算 レビュー

宝酒造グループ

宝酒造G_P/L概要（2011年3月期）

（単位：百万円）	11/03期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	11/4予想比 増減	11/4予想比 率(%)
焼酎	72,695	△ 3,518	△ 4.6	△ 2,104	△ 2.8
清酒	20,796	△ 426	△ 2.0	96	0.5
ソフトアルコール飲料	22,252	966	4.5	△ 447	△ 2.0
その他酒類	9,674	△ 60	△ 0.6	174	1.8
本みりん	14,931	△ 95	△ 0.6	△ 68	△ 0.5
その他調味料	7,090	534	8.2	△ 9	△ 0.1
原料用アルコール等	6,275	51	0.8	△ 124	△ 1.9
その他	13,073	2,369	22.1	△ 26	△ 0.2
売上高	166,790	△ 179	△ 0.1	△ 2,509	△ 1.5
売上原価	104,202	156	0.2	△ 1,297	△ 1.2
売上総利益	62,587	△ 335	△ 0.5	△ 1,212	△ 1.9
運送費、保管料	6,368	75	1.2	△ 31	△ 0.5
広告宣伝費	3,276	△ 429	△ 11.6	△ 123	△ 3.6
販売促進費等	29,845	390	1.3	△ 454	△ 1.5
研究開発費	388	16	4.4	△ 111	△ 22.4
管理費、その他	16,140	173	1.1	240	1.5
販管費	56,018	224	0.4	△ 481	△ 0.9
営業利益	6,568	△ 560	△ 7.9	△ 731	△ 10.0

●売上高の主な増減理由

【宝酒造単体・前期比】

（単位：百万円）

＜焼酎＞
- 焼酎甲類 ▲2,175
- 焼酎乙類 ▲1,191

＜ソフトアルコール飲料＞
- 焼酎ハイボール +2,490

＜その他調味料＞
- 料理清酒 +382

＜その他＞
- フーデックス社（新規連結） +2,531

●酒類の市場動向（2010年1-12月）

品目	前年比（数量）
焼酎甲類	▲2.7%
焼酎乙類	▲4.7%
焼酎合計	▲3.8%
清酒	▲6.5%
ソフトアルコール飲料	+8%程度
本みりん	▲2.4%

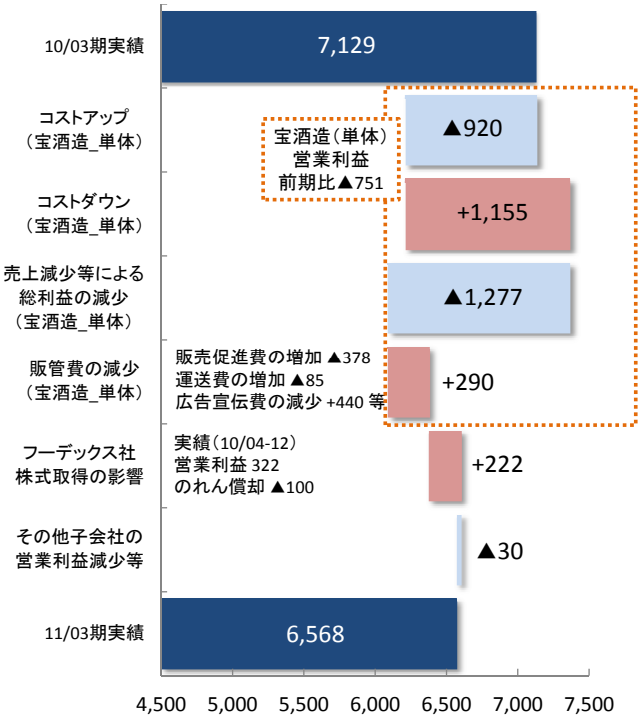
*2010年1-12月の課税移出数量の前年比（国税庁速報値）、ソフトアルコール飲料は2010年1-12月の市場規模の前年比（醸造産業新聞社調べ）

＜営業利益率＞

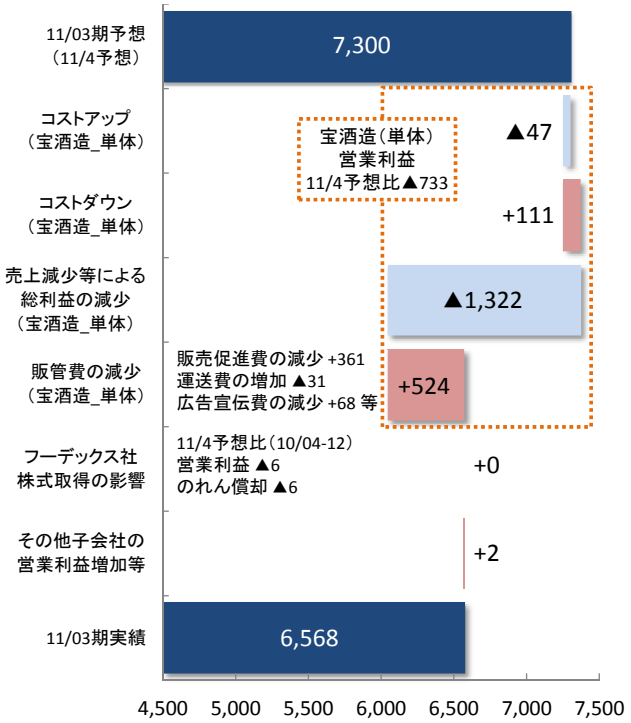
11/03期 実績	前期差	11/4予想差
3.94%	-0.33p	-0.37p

宝酒造G_営業利益増減分析（2011年3月期）

●前期比 （単位：百万円）



●11/4予想比 （単位：百万円）



コストアップ ：粗アル、重油、天然ガスなど
コストダウン：容包品、液糖など

2. TaKaRaグループ中期経営計画2013

第7次中期経営計画 レビュー
中期経営計画2013 概要

第7次中期経営計画（2008.04~2011.03）の振り返り_概要

●基本方針

成長投資と株主還元を通じ、中核事業の持続的安定成長と、成長事業育成の加速を実現し、企業価値の向上を目指す

●2011年3月期 財務目標

売上高2,000億円以上
経常利益100億円以上

●事業戦略

宝酒造グループ
- 国内酒類事業の収益力の維持・向上
- 国内外の伸びる市場へのチャレンジ

タカラバイオグループ
- 遺伝子工学研究事業の拡大
- 医食品バイオ事業の収益改善
- 遺伝子医療事業における研究開発の推進

宝ヘルスケア社
- 通信販売顧客の獲得

●財務戦略

- 成長のための投資
  （成長事業、収益力強化のための投資）
  3ヶ年累計　100億円以上
- 株主還元総額（配当＋自己株式の取得）
  3カ年累計　100億円以上
- 株主還元性向　50%以上

$$\frac{\text{株主還元総額（配当総額＋自己株式取得総額）}}{\text{みなし連結当期純利益}} \geqq 50\%$$

（連結経常利益－受取利息・配当金＋支払利息）×（1－法定実効税率）

第7次中期経営計画（2008.04~2011.03）の振り返り_事業戦略①

宝酒造グループ

売上高・利益目標ともに未達

成果
課題

●国内酒類事業の収益力の維持・向上

- 品質訴求商品の開発・育成
- 焼酎ハイボールの売上拡大
- 継続的なコストダウン
- 売上高の未達
- 商品構成の悪化

●国内外の伸びる市場へのチャレンジ

- 海外で日本食材卸事業に参入
- 加工業務用調味料の拡大
- 成長スピードの不足

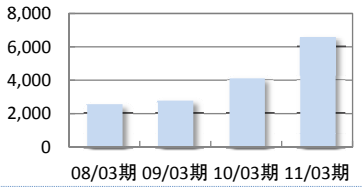
【品質訴求商品の発売時期】

'08年8月　本格麦焼酎「知心剣」
'08年9月　松竹梅「白壁蔵」＜生酛純米＞
'10年9月　松竹梅「白壁蔵」＜生酛吟醸＞

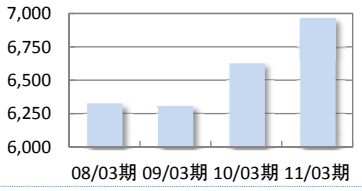
【コストアップ・ダウン（3ヵ年累計）】

コストアップ	▲2,764百万円
コストダウン	4,714百万円
差　引	1,950百万円

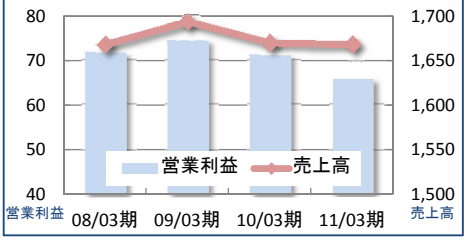
【焼酎ハイボール売上高推移】（単位：百万円）



【加工業務用調味料売上高推移】（単位：百万円）



【宝酒造グループ業績推移】（単位：億円）



【宝酒造グループ業績】

（単位：百万円）	08/03期 実績	11/03期 計画（中計）	11/03期 実績	08/03期比 増減	08/03期比 率(%)	計画（中計）比 増減	計画（中計）比 率(%)
焼酎	73,679	74,374	72,695	△ 983	△ 1.3	△ 1,678	△ 2.3
清酒	23,777	23,495	20,796	△ 2,981	△ 12.5	△ 2,699	△ 11.5
ソフトアルコール飲料	19,934	22,683	22,252	2,318	11.6	△ 431	△ 1.9
その他酒類	11,432	11,656	9,674	△ 1,758	△ 15.4	△ 1,982	△ 17.0
本みりん	16,071	16,926	14,931	△ 1,139	△ 7.1	△ 1,994	△ 11.8
その他調味料	5,554	7,430	7,090	1,535	27.7	△ 339	△ 4.6
原料用アルコール	4,900	6,243	6,275	1,375	28.1	32	0.5
その他	11,438	12,389	13,073	1,635	14.3	684	5.5
売上高	166,788	175,200	166,790	2	0.0	△ 8,409	△ 4.8
営業利益	7,177	8,000	6,568	△ 609	△ 8.5	△ 1,431	△ 17.9

第7次中期経営計画（2008.04~2011.03）の振り返り_事業戦略②

タカラバイオグループ

売上高は未達となったが、利益目標は達成

成果
課題

●遺伝子工学研究事業の拡大

- クロンテック製品の大連への製造移管効果
- 中国での売上拡大
- 研究用試薬の売上未達

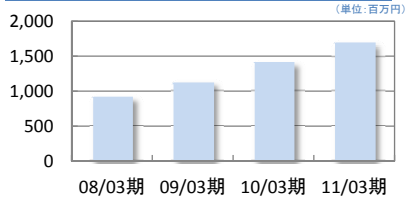
●医食品バイオ事業の収益改善

- キノコの製造コストダウン
- 自社販売体制の確立
- 研究開発費の効率的運用

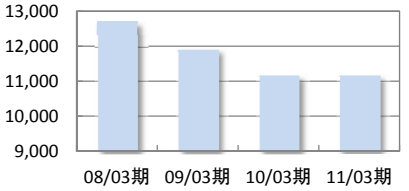
●遺伝子医療事業における研究開発の推進

- 臨床開発の進展
- パイプラインの拡充（HF-10）
- レトロネクチン®を用いた細胞医療の有償治療開始

【遺伝子工学研究分野の中国国内売上高推移】（単位：百万円）



【研究用試薬売上高推移】（単位：百万円）



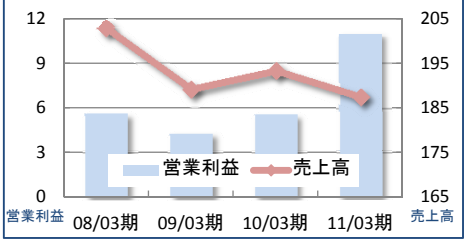
宝ヘルスケア

収支均衡の目標は未達

●通信販売顧客の獲得

- 通信販売ルートの拡大
- 営業赤字の継続

【タカラバイオグループ業績推移】（単位：億円）



第7次中期経営計画（2008.04~2011.03）の振り返り_財務戦略・定量目標

財務戦略

●成長のための投資

- フーデックス社の株式取得
- 米国宝酒造の設備増強
- 100億円の目標金額には未達

●株主還元

- 100億円以上の株主還元
- 株主還元性向50%以上

成果
課題

【成長のための投資（3ヵ年累計）】

フーデックス社の株式取得	35億円
米国宝酒造の設備増強	7億円
合　計	42億円

【株主還元（3ヵ年累計）】

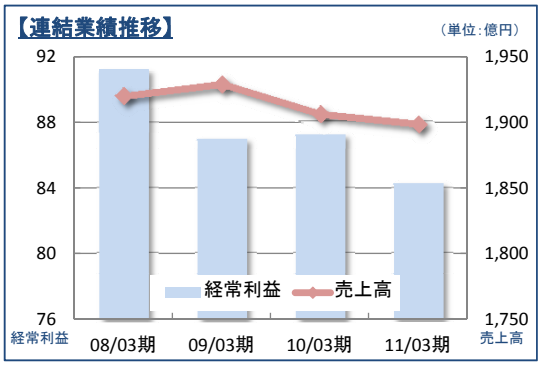
配当総額（見込）	53億円
自己株式取得額	47億円
株主還元総額	100億円
株主還元性向	66.0%

定量目標

●2011年3月期　売上高2,000億円以上、経常利益100億円以上

- 売上高・経常利益とも未達

【連結業績推移】



【連結業績】

（単位：百万円）	08/03期 実績	11/03期 計画（中計）	11/03期 実績	08/03期比 増減	08/03期比 率(%)	計画（中計）比 増減	計画（中計）比 率(%)
宝酒造G	166,788	175,200	166,790	2	0.0	△ 8,409	△ 4.8
タカラバイオG	20,278	22,490	18,737	△ 1,540	△ 7.6	△ 3,752	△ 16.7
宝ヘルスケア	3,078	3,930	2,567	△ 510	△ 16.6	△ 1,362	△ 34.7
その他	1,733	2,580	1,673	△ 59	△ 3.4	△ 906	△ 35.1
売上高	191,878	204,200	189,769	△ 2,108	△ 1.1	△ 14,430	△ 7.1
宝酒造G	7,177	8,000	6,568	△ 609	△ 8.5	△ 1,431	△ 17.9
タカラバイオG	560	950	1,097	537	96.0	147	15.5
宝ヘルスケア	△ 500	10	△ 252	247	―	△ 262	―
その他	1,268	1,240	921	△ 346	△ 27.4	△ 318	△ 25.7
営業利益	8,506	10,200	8,335	△ 170	△ 2.0	△ 1,864	△ 18.3
経常利益	9,123	10,200	8,427	△ 695	△ 7.6	△ 1,772	△ 17.4
当期純利益	4,658	5,100	3,788	△ 870	△ 18.7	△ 1,311	△ 25.7

今後の市場環境

国内の事業環境は厳しくなるが、国内外ともに成長を見込める機会も存在する

国内

消費市場の縮小と消費構造の変化

【想定される環境変化】

- 人口減少や産業空洞化による国内消費市場の縮小
- 価値観の変化による消費の二極化
- 不況とデフレの継続
- 高齢化の加速による高齢者向け市場の拡大
- 食の安全・安心へのニーズの高まり
- 単独世帯の増加や女性の社会進出による食の外部化と個食化の進行

海外

日本食市場の拡大とバイオ関連市場の拡大

【想定される環境変化】

- 先進国での健康志向の高まりや、新興国の所得水準向上による日本食市場の拡大
- 先進国の医療高度化、新興国の経済成長に伴うバイオ関連市場の拡大
- 日本企業の海外進出に伴うビジネスチャンスの拡大

世界人口の増加、新興国での需要拡大による原材料価格の高騰

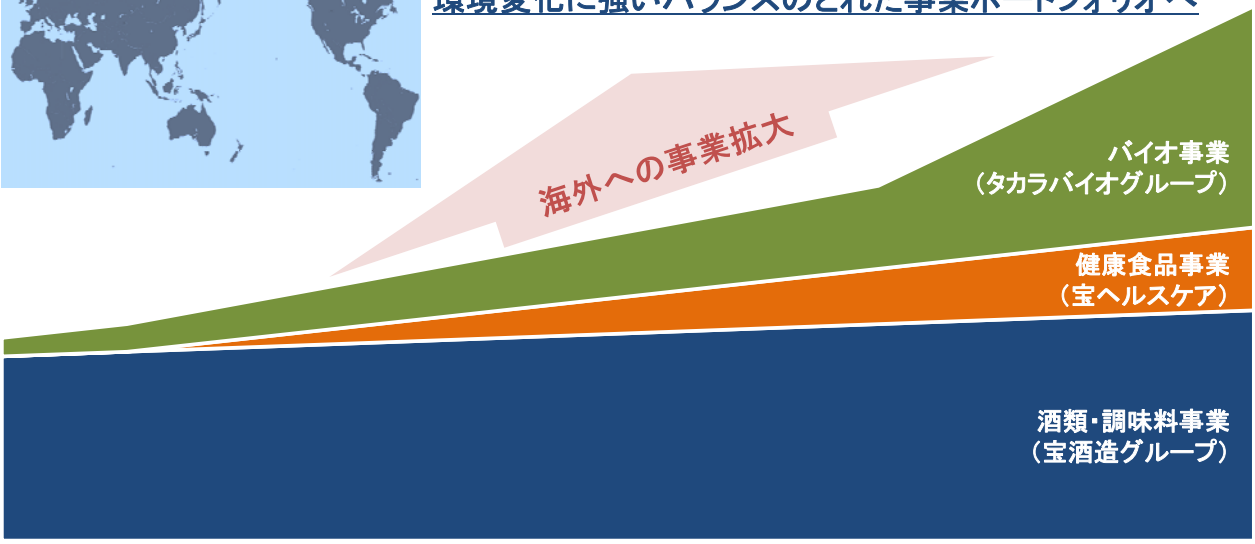
東日本大震災の影響の長期化

TaKaRaグループ・ビジョン2020

TaKaRaグループ・ビジョン2020（2011年度～2020年度）

経営目標	国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、 環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。

国内外において
環境変化に強いバランスのとれた事業ポートフォリオへ



安定収益基盤と成長事業を有する独自の強固な事業ポートフォリオ

TaKaRaグループ中期経営計画2013（2011.04~2014.03）

TaKaRaグループ・ビジョン2020の実現に向けた第1ステップ

基本方針	「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現に向けて、 国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する。
定量目標	2014年3月期　TaKaRaグループ　連結売上高 2,000億円以上、営業利益 100億円以上 海外売上高比率 10%以上、成長事業＋育成事業売上高比率 25%以上

事業の位置付けと事業方針

基盤事業	●国内酒類事業	中核事業として収益力の強化に取り組み、 グループの成長を支える。
成長事業	●海外酒類事業、日本食材卸事業 ●調味料・酒精事業 ●遺伝子工学研究事業	成長が見込まれる市場で、積極的に事業拡大を図り、 グループ全体の成長を牽引する。
育成事業	●健康食品事業 ●遺伝子医療事業	成長が見込まれる市場で、次期の成長事業化を目指し、 事業基盤の確立に取り組む。

風土・人財の育成　**グループ経営基盤の強化**　**社会・環境行動の推進**

財務方針	健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、 積極的な株主還元を実施し、ROE（自己資本利益率）の向上を目指す。

事業方針

基盤事業

●国内酒類事業

- 新商品の開発
- ブランドの育成
- 収益力の強化

成長事業

●海外酒類事業、日本食材卸事業

- 海外における清酒・みりん等の売上拡大
- 日本食材卸販売網の構築

●調味料・酒精事業

- 加工業務用調味料・酒精の各々の分野で売上拡大
- 相乗効果によるBtoBビジネスの拡大

●遺伝子工学研究事業

- 基盤技術の開発
- 国内外の市場開拓

育成事業

●健康食品事業

- フコイダンを中心に売上拡大
- 早期の黒字化

●遺伝子医療事業

- 臨床開発の推進
- 細胞医療用製品の売上拡大
- 臨床開発支援事業の拡大

定量目標

連結売上高・営業利益

（単位：百万円）	11/03期 実績	14/03期 計画	11/03期比 増減	11/03期比 率(%)
売上高	189,769	**200,000**	10,230	5.4
営業利益	8,335	**10,000**	1,664	20.0

海外売上高

（単位：百万円）	11/03期実績 金額	11/03期実績 海外比率(%)	14/03期計画 金額	14/03期計画 海外比率(%)	11/03期比 増減	11/03期比 率(%)
宝酒造G	7,528	4.5%	**11,500**	**6.4%**	3,971	52.8
タカラバイオG	7,187	38.4%	**8,500**	**37.4%**	1,312	18.3
海外売上高（連結）	14,716	7.8%	**20,000**	**10.0%**	5,283	35.9

成長事業＋育成事業売上高

（単位：百万円）		11/03期実績 金額	11/03期実績 比率(%)	14/03期計画 金額	14/03期計画 比率(%)	11/03期比 増減	11/03期比 率(%)
成長事業	●海外酒類事業、日本食材卸事業 ●調味料・酒精事業 ●遺伝子工学研究事業	36,677	19.3%	**45,000**	**22.5%**	8,322	22.7
育成事業	●健康食品事業 ●遺伝子医療事業	3,217	1.7%	**5,000**	**2.5%**	1,782	55.4
成長事業＋育成事業		39,895	21.0%	**50,000**	**25.0%**	10,104	25.3

財務方針

財務方針　健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、積極的な株主還元を実施し、ROE（自己資本利益率）の向上を目指す。

健全な財務体質の維持

◆格付「シングルA」の維持

成長・育成事業への投資

◆成長事業と育成事業に対して優先的に投資

積極的な株主還元

◆配当と自己株式取得を合わせ株主還元性向50%以上を実施

健全な財務体質の維持

成長・育成事業への投資

積極的な株主還元

→ ROEの向上

$$\text{株主還元性向} = \frac{\text{株主還元総額（配当総額＋自己株式取得総額）}}{\text{みなし連結当期純利益*}} \geqq 50\%$$

*みなし連結当期純利益＝（連結経常利益－受取利息・配当金＋支払利息）×（1－法定実効税率）

利益成長と自己資本のコントロールにより、ROEの向上を目指す

3. 宝酒造グループ中期経営計画2013

宝酒造グループ中期経営計画2013（2011.04~2014.03）

基本方針　国内は、酒類事業の収益力強化およびBtoB事業の拡大、
海外は、日本食材卸販売網の構築に取り組む。

定量目標　2014年3月期　売上高 1,800億円、営業利益 77億円

（単位：百万円）	11/03期 実績	14/03期 計画	11/03期比 増減	11/03期比 率(%)
焼酎	72,695	**72,200**	△ 495	△ 0.7
清酒	20,796	**21,400**	603	2.9
ソフトアルコール飲料	22,252	**30,000**	7,747	34.8
その他酒類	9,674	**9,800**	125	1.3
本みりん	14,931	**15,900**	968	6.5
その他調味料	7,090	**8,000**	909	12.8
原料用アルコール	6,275	**7,700**	1,424	22.7
その他	13,073	**15,000**	1,926	14.7
売上高	166,790	**180,000**	13,209	7.9
営業利益	6,568	**7,700**	1,131	17.2

事業戦略①　国内酒類事業

【市場環境の変化】
人口減少、高齢化、若年層の酒離れ　☞　酒類市場の縮小
価値観の変化、消費の二極化　☞　消費行動変化による新規需要の発生
原材料価格の高騰、デフレの進行、国内景気の低迷

新商品の開発

**差別化品質を持った
オリジナリティある新商品の開発**

・新商品の開発スピードを上げ、売上を拡大
（3年間で新商品の売上高90億円を目指す）
・消費行動の変化に対応し、新たな需要層を獲得

ブランドの育成

**こだわりゾーンとスタンダードゾーンの双方で
多数の強いブランドを育成**

＜こだわりゾーン＞
・全量芋焼酎「一刻者」、本格麦焼酎「知心剣」
・松竹梅「白壁蔵」＜生酛＞シリーズ

＜スタンダードゾーン＞
・極上＜宝焼酎＞
・本格焼酎「黒よかいち」
・焼酎ハイボール
・松竹梅「豪快」、生酒
・料理清酒

収益力の強化

利益マネジメントの強化と、業務効率化の推進

事業戦略②　調味料･酒精事業

2011年4月1日
調味料加工業務用事業本部 ＋ 酒精事業本部 ＝ 調味料･酒精事業本部　設立

加工業務用調味料事業の拡大

技術力に基づく商品開発と提案営業で顧客の課題解決に貢献

＜酒類調味料＞
高い調理効果を持つ本みりん･料理清酒でユーザーの差別化戦略実現に貢献

＜食品調味料＞
醗酵調味液でユーザーのコストメリットを実現し、
だし調味液で専用調味料･惣菜メーカーの味作りに貢献

酒精事業の拡大

新たなスキームによる事業成長と競争優位性の確立による収益力強化

＜成長戦略＞
･新規市場へのチャンレンジ
･ユーザーの生産拠点の海外移転への対応

＜収益力強化＞
･品質訴求力の強化
･営業システムの強化
･原料価格高騰への対応

統合によるシナジーの追求

当面のシナジー　☞　顧客対応力の強化

BtoBビジネスを事業の柱として中長期的に拡大

事業戦略③　海外事業

【事業展開】　2010年4月30日　仏フーデックス社の株式を取得し、日本食材卸事業に参入
【市場環境】　先進国での健康志向の高まり、新興国での所得水準の向上
☞日本食市場の拡大

海外酒類事業の拡大

日本食レストラン市場におけるシェアアップと量販チャネルにおける間口拡大

＜米国宝酒造＞
･西海岸の日本食レストラン市場でのシェア維持
･東海岸の日本食レストラン市場の開拓促進
･米系量販チャネルの間口拡大
･清酒の品質向上と安定供給

＜宝酒造食品（中国）＞
･中国国内の日本食レストランでの間口拡大
･大手量販チャネルへの侵攻促進
･大都市圏での売上拡大と未開拓地区への侵攻

日本食材卸販売網の構築

海外における販売網を構築･拡大

＜フーデックス社＞
･欧州における流通網の拡大
　→ベルギーに子会社を設立（2011年3月）
･欧州の日本食レストランへのアプローチ強化

【フーデックス社　売上高･営業利益（計画）】

（単位：百万円）	11/03期 実績	14/03期 計画（中計）	11/03期比 増減	11/03期比 率(%)
売上高	2,531	4,730	2,198	86.9
営業利益	322	564	242	75.2

日本食文化を世界に広める

日本の酒類と食材を組み合わせた提案による、新規販路獲得･間口拡大

4. 2012年3月期 業績予想

宝酒造グループ
宝ホールディングス連結

宝酒造G_2012年3月期 業績予想

（単位：百万円）	12/03期 計画	前期比 増減	前期比 率(%)
焼酎	74,000	1,304	1.8
清酒	20,400	△ 396	△ 1.9
ソフトアルコール飲料	25,800	3,547	15.9
その他酒類	9,700	25	0.3
本みりん	15,000	68	0.5
その他調味料	7,700	609	8.6
原料用アルコール等	6,600	324	5.2
その他	14,600	1,526	11.7
売上高	173,800	7,009	4.2
売上原価	108,600	4,397	4.2
売上総利益	65,200	2,612	4.2
運送費、保管料	6,600	231	3.6
広告宣伝費	3,600	323	9.9
販売促進費等	31,400	1,554	5.2
研究開発費	450	61	15.9
管理費、その他	16,450	309	1.9
販管費	58,500	2,481	4.4
営業利益	6,700	131	2.0

●売上高の主な増減理由

【宝酒造単体・前期比】（単位：百万円）

＜焼酎＞
- 焼酎甲類 +864
- 焼酎乙類 +535

＜ソフトアルコール飲料＞
- 焼酎ハイボール +2,562
- 直搾り +1,667

＜その他調味料＞
- 料理清酒 +508

＜その他＞
- フーデックス社 +1,191

●コストアップ・ダウン

【宝酒造単体・前期比】（単位：百万円）

＜コストアップ＞
- 粗アル、重油、天然ガス、糖など ▲1,011

＜コストダウン＞
- PETボトル、米など +1,110

●営業利益の増減内訳（単位：百万円）

- 宝酒造単体 +77
- フーデックス社 +146
- フーデックス社ののれん償却費増加 ▲29
- その他 ▲62

＜フーデックス社 業績予想＞

（単位：百万円）	11/03期 実績	12/03期 計画	11/03期比 増減	11/03期比 率(%)
売上高	2,531	3,723	1,191	47.1
営業利益	322	468	146	45.4

*11/03期：2010年4-12月（9ヶ月）、12/03期：2011年1-12月（12ヶ月）

宝HLD連結_2012年3月期 業績予想

（単位：百万円）	12/03期 計画	前期比 増減	前期比 率(%)
宝酒造G	173,800	7,009	4.2
タカラバイオG	19,800	1,062	5.7
宝ヘルスケア	2,400	Δ 167	Δ 6.5
その他	1,299	Δ 374	Δ 22.4
売上高	197,300	7,530	4.0
売上原価	119,700	4,219	3.7
売上総利益	77,600	3,310	4.5
販管費	69,200	3,246	4.9
宝酒造G	6,700	131	2.0
タカラバイオG	1,100	2	0.3
宝ヘルスケア	Δ 120	132	—
その他	719	Δ 202	Δ 21.9
営業利益	8,400	64	0.8
経常利益	8,700	272	3.2
当期純利益	4,000	211	5.6

●グループ別トピックス

＜総括＞
宝酒造グループで大幅な増収計画。
グループ全体でも増収・増益の計画。

＜宝酒造グループ＞
焼酎・ソフトアルコール飲料を中心とする大幅な売上増加、フーデックス社の年間寄与などにより増収・増益の計画。

＜タカラバイオグループ＞
研究用試薬を中心に増収の計画。
遺伝子医療分野での研究開発費増加を見込み、営業利益は当期並みの計画。

＜宝ヘルスケア＞
利益改善の計画。
2013年3月期の黒字化を目指す。

●営業外・特別損益

（単位：百万円）	12/03期 計画	前期比 増減	前期比 率(%)
営業外収益	900	Δ 23	Δ 2.6
営業外費用	600	Δ 231	Δ 27.8
営業外損益収支	300	207	225.0
特別利益	200	Δ 367	Δ 64.8
特別損失	1,300	Δ 189	Δ 12.7
特別損益収支	Δ 1,100	Δ 177	19.3

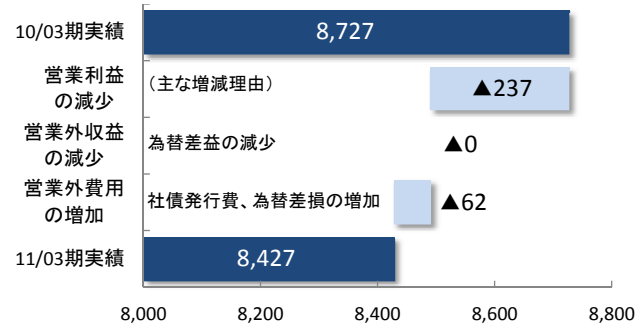
資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ＞
宝ホールディングス株式会社　IR室
Tel. 075-241-5124
E-Mail　ir@takara.co.jp

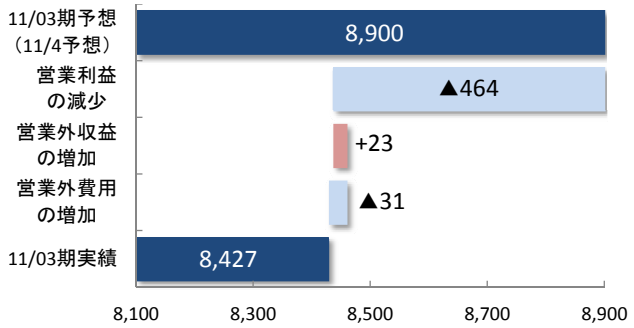
＜参考資料＞

宝HLD連結_経常利益・当期純利益増減分析（2011年3月期）

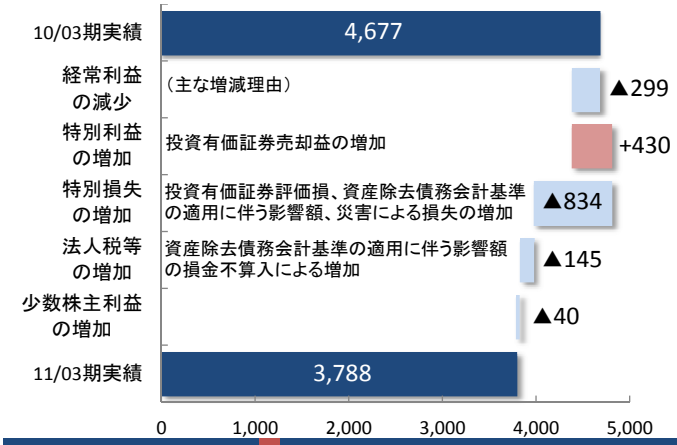
●経常利益_前期比 （単位：百万円）



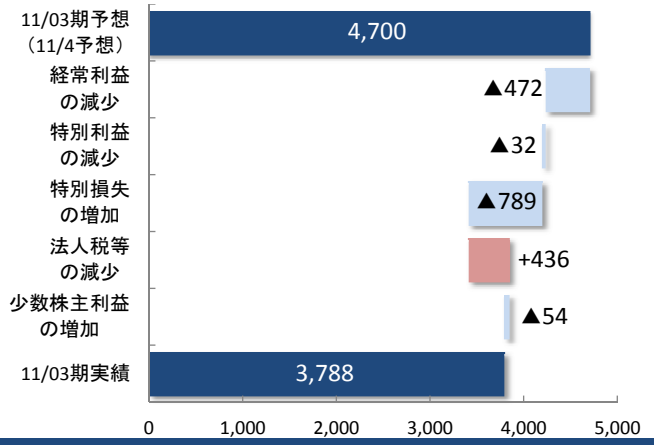
●経常利益_11/4予想比 （単位：百万円）



●当期純利益_前期比 （単位：百万円）



●当期純利益_11/4予想比 （単位：百万円）



宝HLD連結_包括利益計算書（2011年3月期）

（単位：百万円）	10/03期 実績	11/03期 実績	増減
少数株主損益調整前当期純利益	4,891	**4,042**	Δ 849
その他の包括利益合計	2,222	**Δ 3,570**	Δ 5,793
その他有価証券評価差額金	1,646	**Δ 1,260**	Δ 2,906
繰延ヘッジ損益	37	**Δ 40**	Δ 78
為替換算調整勘定	545	**Δ 2,227**	Δ 2,772
持分法適用会社に対する持分相当額	Δ 7	**Δ 42**	Δ 35
包括利益	7,113	**471**	Δ 6,642
（内訳）			
親会社株主に係る包括利益	6,821	**633**	Δ 6,188
少数株主に係る包括利益	291	**Δ 161**	Δ 453

宝HLD連結_B/S概要：資産（2011年3月期末）

（単位：億円）	10/03末	11/03末	増減
流動資産	1,207	**1,197**	Δ 10
現金及び預金	315	**327**	12
受取手形及び売掛金	457	**451**	Δ 6
有価証券	142	**126**	Δ 16
たな卸資産	242	**242**	0
その他	49	**48**	Δ 0
固定資産	747	**727**	Δ 20
有形固定資産	429	**416**	Δ 12
無形固定資産	39	**60**	20
投資その他資産	278	**250**	Δ 27
投資有価証券	210	**185**	Δ 25
その他	67	**65**	Δ 2
資産合計	1,954	**1,924**	Δ 30

●主な増減理由 （単位：億円）

- 現金及び預金 12 → TH Δ 23.3、TB ＋36.6
- 受取手形及び売掛金 Δ 6 → TS Δ 8.8
- 有価証券 Δ 16 → TH ＋15.0、TB Δ 30.4
- 有形固定資産 Δ 12 / 無形固定資産 20 → 当期の有形・無形固定資産の増減内訳
  - 新規取得 ＋37.3 （TS ＋27.3、TB ＋9.2）
  - 減価償却 Δ 45.5 （TS Δ 32.8、TB Δ 11.2）
  - その他増減 ＋15.7
- 投資有価証券 Δ 25 → TH Δ 25.5 （時価評価差額 Δ 18.7 他）

（TH：宝HLD、TS：宝酒造グループ、TB：タカラバイオグループ）

宝HLD連結_B/S概要：負債・純資産（2011年3月期末）

（単位：億円）	10/03末	11/03末	増減
流動負債	516	414	Δ 102
支払手形及び買掛金	139	134	Δ 4
借入金・社債	151	51	Δ 99
その他	225	227	2
固定負債	346	441	94
借入金・社債	155	255	99
その他	190	185	Δ 5
負債合計	862	855	Δ 7
株主資本合計	955	963	7
資本金・資本剰余金	164	164	Δ 0
利益剰余金	837	857	19
自己株式	Δ 46	Δ 58	Δ 12
その他包括利益累計額	11	Δ 20	Δ 31
少数株主持分	125	125	0
純資産合計	1,092	1,068	Δ 23

●主な増減理由 （単位：億円）

- 支払手形及び買掛金 → TS Δ 2.0、TB Δ 1.6
- 借入金・社債 → TH Δ 99.9（第5回普通社債 2010年7月償還 Δ 50.0）（シンジケートローン 2011年1月返済 Δ 50.0）
- 借入金・社債 → TH ＋100.0 （第10回・11回普通社債 2010年5月発行）
- 自己株式 → 自己株式取得 TH Δ11.7
  - 2010年5月-6月に市場買付にて取得（株主還元策）
    - ・取得株数 2,500,000株
    - ・取得金額 1,178,565,000円
- その他包括利益累計額 → その他有価証券評価差額金 TH Δ 11.4

（TH：宝HLD、TS：宝酒造グループ、TB：タカラバイオグループ）

宝HLD連結_キャッシュ・フロー（2011年3月期）

（単位：億円）	10/03期 実績	11/03期 実績	増減
営業CF ①	104	94	Δ 9
税金等調整前当期純利益	82	75	Δ 7
減価償却費	48	45	Δ 2
その他償却費	9	8	Δ 1
運転資本増減	Δ 0	0	1
法人税等の支払額	Δ 42	Δ 36	6
その他	7	1	Δ 6
投資CF ②	Δ 73	Δ 113	Δ 39
固定資産の取得	Δ 31	Δ 31	Δ 0
固定資産の売却	0	0	0
有価証券・投資有価証券の取得	Δ 1	Δ 36	Δ 34
有価証券の売却・償還	25	22	Δ 3
投資有価証券の売却	1	8	7
関係会社株式・出資金の取得	—	—	—
関係会社株式・出資金の売却	—	0	0
連結範囲の変更を伴う子会社株式・出資金の取得等による支出	—	Δ 33	Δ 33
その他	Δ 66	Δ 44	22
フリーCF ①+②	31	Δ 18	Δ 49

（内訳）

	10/03	11/03	増減
売上債権	5	9	3
棚卸資産	Δ 2	Δ 4	Δ 2
仕入債務*	Δ 4	Δ 4	0

（*未払酒税含む）

財務CF Δ 31億円

（内訳）	10/03	11/03
配当金の支払	Δ 18	Δ 17
自己株式取得・売却	Δ 13	Δ 12
ファイナンスによる収入	3	100
ファイナンスによる支出	Δ 1	Δ 100
その他	Δ 1	Δ 2
現金及び現金同等物増減	Δ 0	Δ 52
現金及び現金同等物残高	336	283

宝HLD連結_P/L概要（2012年3月期 第2Q累計 業績予想）

（単位：百万円）	12/03期 2Q累計計画	前期比 増減	前期比 率(%)
宝酒造G	84,000	3,245	4.0
タカラバイオG	8,654	211	2.5
宝ヘルスケア	1,350	△ 166	△ 11.0
その他	495	△ 263	△ 34.7
売上高	94,500	3,027	3.3
売上原価	58,500	2,431	4.3
売上総利益	36,000	595	1.7
販管費	33,700	1,544	4.8
宝酒造G	2,060	△ 724	△ 26.0
タカラバイオG	2	△ 192	△ 98.9
宝ヘルスケア	△ 120	△ 4	ー
その他	357	△ 27	△ 7.2
営業利益	2,300	△ 948	△ 29.2
経常利益	2,400	△ 834	△ 25.8
当期純利益	900	△ 478	△ 34.7

宝酒造G_P/L概要（2012年3月期 第2Q累計 業績予想）

（単位：百万円）	12/03期 2Q累計計画	前期比 増減	前期比 率(%)
焼酎	37,200	△ 250	△ 0.7
清酒	7,100	△ 254	△ 3.5
ソフトアルコール飲料	14,500	2,772	23.6
その他酒類	4,600	△ 157	△ 3.3
本みりん	7,000	△ 84	△ 1.2
その他調味料	3,600	267	8.0
原料用アルコール等	2,800	△ 41	△ 1.5
その他	7,200	995	16.0
売上高	84,000	3,245	4.0
売上原価	53,140	2,368	4.7
売上総利益	30,860	877	2.9
運送費、保管料	3,200	204	6.8
広告宣伝費	1,900	247	15.0
販売促進費等	15,400	990	6.9
研究開発費	200	12	6.8
管理費、その他	8,100	146	1.8
販管費	28,800	1,601	5.9
営業利益	2,060	△ 724	△ 26.0

為替レート（子会社P/L換算用レート）

●単年度

（単位：円）	10/03期 (09年1月-12月)	11/03期 (10年1月-12月)				12/03期 (11年1月-12月)	
	実績	11/4予想	実績	前期差	11/4予想差	予想	前期差
ドル	93.65	87.00	**87.79**	-5.86	+0.79	80.00	-7.79
ポンド	146.61	135.00	**135.53**	-11.08	+0.53	130.00	-5.53
ユーロ	130.36	115.00	**116.28**	-14.08	+1.28	110.00	-6.28
元	13.71	12.90	**12.96**	-0.75	+0.06	12.50	-0.46
100ｳｫﾝ	7.37	7.50	**7.59**	+0.22	+0.09	7.00	-0.59

【FOODEX社のP/L換算レート】
1ユーロ=113.28円（2010年4-12月平均）

●中期経営計画

（単位：円）	08/03期 (07年1月-12月)	11/03期 (10年1月-12月)				14/03期 (13年1月-12月)	
	実績	予想（第7次中計）	実績	08/03期差	予想差	予想（中計2013）	11/03期差
ドル	117.86	110.00	**87.79**	-30.07	-22.21	80.00	-7.79
ポンド	235.90	220.00	**135.53**	-100.37	-84.47	130.00	-5.53
ユーロ	161.31	150.00	**116.28**	-45.03	-33.72	110.00	-6.28
元	15.49	15.00	**12.96**	-2.53	-2.04	12.50	-0.46
100ｳｫﾝ	12.70	12.00	**7.59**	-5.11	-4.41	7.00	-0.59